

ファイル 編集 表示 移動 お気に入り ウィンドウ ヘルプ

愛知県埋蔵文化財センター

戻る 進む 中止 更新 ホーム 検索 メール お気に入り 拡大 縮小 初期設定

アドレス: <http://www.milban.com/>

アップルコンピュータ iMac OS Power Macintosh PowerBook iMac

What's New

イベント・展示会情報

調査報告 (H11)

現場アラカルト

なんでも質問コーナー

自然科学から見た考古学

今月の考古学者

考古学入門講座

まいぶん愛知

埋文コレクション

報告書・年報

財団法人愛知県教育サービスセンター
愛知県埋蔵文化財センター

このホームページはInternet Explorer 4.0以上、Netscape Navigator 4.0以上で推奨しています。

インターネットゾーン



<http://www.maibun.com>

弥生・古墳時代の鳥形製品

1. 本川遺跡の鳥形木製品

豊田市に所在する本川遺跡98B区から鳥形木製品が出土した。出土地点は、古墳時代中期初頭の集落の西側に広がる谷地形にあたる。長さ42cm、幅12cm、厚さ4.5cmの大きさで、頭部・胴部・尾部を立体的に作り出したいわゆる「丸彫り」

タイプに相当する。上（下）から見て、鳥が飛翔している様子を写實的に表現しており、表面、とりわけ胴部内面の加工痕も非常に明瞭に残っている。

この鳥形の大きな特徴は、2つある。

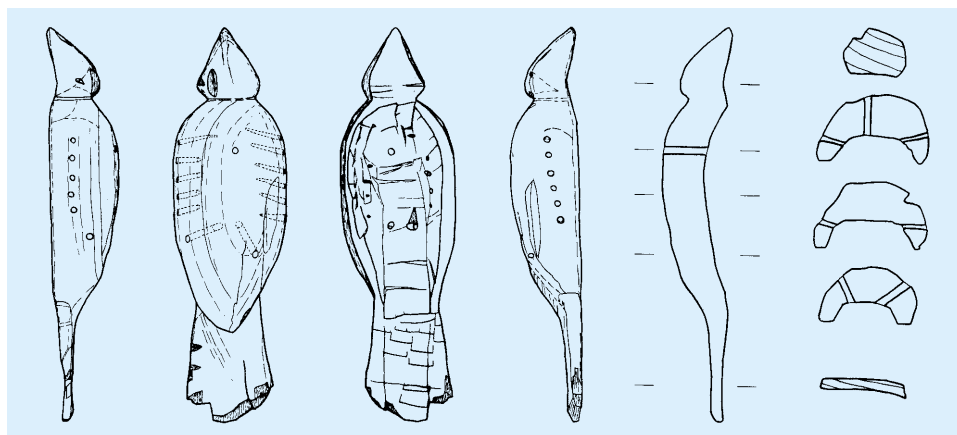
- ① 胴部両側面に6つの小穿孔、また上面にも2つの小穿孔が施されている。
- ② 胴部下面が大きく抉られている。

このような形状をした「鳥形」は、現在までのところ、他に類例を見ない。そこで、これまでに発掘されている各地の「鳥形」について少し見ていきたい。



鳥形木製品出土状況（本川遺跡）

* * * *



本川遺跡出土鳥形木製品実測図（1：8）

2. さまざまな「鳥」

鳥をかたどった遺物には、木製品と土製品が見られる。

木製品の場合、本川遺跡のように飛翔している形をイメージしたものと静止している形をイメージしたものとの形が分かれる。また、かたどりの

仕方も、立体的か平面的か、上（下）から見た姿か横から見た姿か、写實的か象徴的か、というように様々である。土製品においても、「鳥そのものをかたどった製品」と「鳥をモチーフにした容器（以下、鳥形土器）」との2種類が見られる。

ところで、これらの遺物のモデルになった鳥は、どんな種類だったのであろうか？ 形から見て、最も好まれたのが、水辺に生息する鳥（いわゆる水鳥）であったと見られる。例えば、島根県西川津遺跡や大阪府山賀遺跡の出土例のように頸部を長く表現しているものについては、ツルもしくはサギを写した



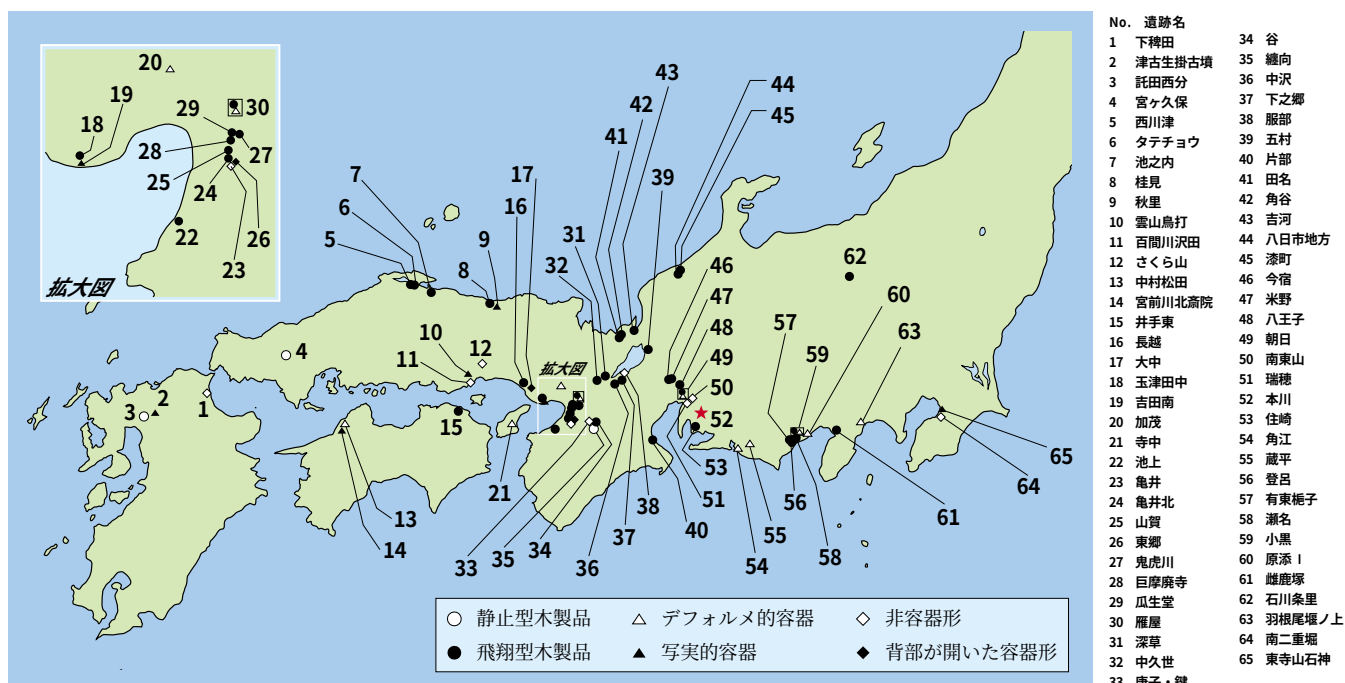
八王子遺跡出土鳥形木製品



朝日遺跡出土鳥形土器



朝日遺跡出土鳥形木製品



と考えられている。また、土製品の中では、明らかに鶏をかたどったものが多い。

3. 「鳥形」の役割

縄文時代の遺物には、さまざまな生物の表現が見られるが、鳥を造形したものはほとんど見られない。しかし、次の弥生時代には、鳥を題材とする造形が大変多く見られる。このことから、大陸からの稲作農耕文化の伝来と共に、鳥を神聖視する「鳥霊信仰」がもたらされたと考えられている。

例えば、大阪府池上曽根遺跡から出土した鳥形木製品は、その形状から、古代朝鮮（馬韓）で行われていた農耕の祭りの際に、祭場に立て並べられた「鳥竿」にとりつけられた「祖霊や穀霊を運ぶ鳥」と同じものであろうと考えられた。そして弥生時代中期末頃には「死者の霊を運ぶ鳥」という観念も生まれたようだ。また、遺跡の中での「境界」地点から出土することもあわせて、現在も韓国に境界神として祀られているソッテ*との類似性も指摘されている。一方、土製品のモデルとされる鶏も、東南アジアに見られる民族事例から、農耕祭儀を行う際の神にささげられた鳥として用いられたと考えられている。また鳥形土器は、こうした祭祀のときに用いられた道具の1つと思われる。

4. 「鳥形」の分布から

弥生時代から古墳時代前期にかけての鳥形製品は、主に中国地方東部から東海地方にかけて分布している。しかし、九州では余り見られず、関東北部以東では全く出土していない。このことから、水田が見つかった遺跡の分布とは必ずしも一致していないことが窺える。稲作農耕文化が広がっていく過程で、地域によってその受け入れ方が異なっていたのかも知れない。

* 木の竿の先に木製の鳥をつけたもの

<参考文献>

金関 恕 1986 「呪術と祭り」『日本考古学』 4 岩波書店
寺沢 薫 1987 「弥生人の心を描く」『日本の古代』 13 心の中の宇宙 中央公論社

桃^いかしな遺物^{ぶつ}

No.3

いまちょう 今町遺跡の 石硯^{いし すすり}

豊田市今町遺跡では、江戸時代初めの屋敷を囲む溝（98 C区 SD09）から、黒い頁岩製の硯が出土しました。この

石硯は、墨液を溜める部分が桃の実の形に掘り込まれ、その上には桃の葉が、右には木の幹が線

彫りで描かれたなかなか粋な作品です。観賞用の硯とも考えられ、この屋敷に住んでいた人々の趣味の高さが窺われます。（埋文セ 鈴木正貴）



* * * * *

いよいよ開設！ 愛知埋文のホームページ！！



調査現場紹介のページです

昨年12月3日に、愛知県埋蔵文化財センターのホームページが開設されました。

このホームページでは、当センターが実施している遺跡調査の速報がご覧いただけるほか、今月の考古学者、考古学の入門講座、自然科学と考古学のトピックなど、親しみの持てる多くの話題を提供しています。

一部コンテンツの説明をしますと、次のようになります。

「**今月の考古学者**」では、当センターの職員の自己紹介がなされています。

「**イベント・展示会情報**」では、センターが主催する埋文展をはじめとする考古学関連の展示会の案内をしています。

「**現場アラカルト**」では、発掘現場で繰り広げられる愉快的出来事を紹介するページとなっています。 etc.....



イベント・展示会情報のページです

これらのほかに、当センターの刊行物の検索や、「まいぶん愛知」のバックナンバー（No.48以降）がPDFファイルでダウンロードできるコーナーなど、11のコンテンツで構成されています。詳しくは（<http://www.maibun.com>）にアクセスしてください。質問や話題提供も随時



なんでも質問コーナーもあります

メール（メールアドレス：doki@maibun.com）で受け付けておりますので、よろしくお願いいたします。

みなさんのご訪問を楽しみにしております。

まいぶん 愛知 No.59

発行 平成12年1月31日
編集 (財)愛知県教育サービスセンター
愛知県埋蔵文化財センター
〒498-0017
愛知県海部郡富町新田方802-24
TEL 0567-67-4163 FAX 0567-67-3054
<http://www.maibun.com> E-mail: doki@maibun.com
印刷 クイックス